

## 学生会議からの要望と教員からの回答

番号	区分	要望のあった学年	意見・要望など	回答
1	コミュニケーション・学生間交流について	4、3、2	<p>授業、進路、就職活動などの情報共有のために、学年間の関係を作るためのイベントを復活させてほしい（コロナ禍前までに行われていた生産環境管理学領域のイベントなど）。特に、2回生2学期の領域分属後にオンラインでもよいので顔合わせ機会が欲しい。</p> <p>以下、具体的な内容やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前は、2～4回生と先生、推薦で生産環境管理学領域に所属することがわかっている1回生で、年2～3回くらいイベントを行っていた。追いコン（卒論後）、春・秋季懇談会（体育館やグラウンドでスポーツ、学生会館で休日借り切ってくるたやクイズ大会などの室内系のレクリエーションなど）</li> <li>・体育館でバスケットボール、ドッジボール、障害物競争、水風船を投げ合うような遊びなどを行っていた。</li> <li>・卒業のときに、3年生が同じ研究室の卒業生に動画をつくってDVDにまとめてくばった。追いコンのときに動画をスクリーンで流し、鑑賞した。</li> <li>・縦のつながりがあると就活や授業のことなどの情報共有ができるのであったほうがいい。</li> <li>・2年生としては縦のつながりがないのでありがたい。ただ、オンラインだと参加できるか日程調整など課題もある。</li> </ul>	<p>現状のコロナ禍では対面実施は状況次第と言わざるをえません。学年間のつながりを形成する一助としてですが、生産環境管理学特別講義Ⅱでは研究室訪問がメニューとして組み込まれていますので、その際に分属されている上級生に話を聞いてみる、ということもありえるかと思います。また、授業ではありませんが、当領域では2学期に企業説明会を複数回実施しています。主な参加者は3年生ですが、下級生も参加できますので、そういう場でつながりを作ってもらうことも可能かと思います。春季・秋季研修会はオンラインでの実施方法を引き続き、学生のみなさんと検討できればと思いますので、案があればいつでも学生窓口までご連絡ください。</p> <p>従来型のイベント等の実施は、現状および当面の予測として実施不可能です。ウィズコロナ、アフターコロナに適合した形をともに作る、という意識を教員だけでなく学生も持ち、学生会議を通じて提案をして頂きたいと思います。なお、顔合わせの機会についてですが、一学期の生産環境管理学特別講義Ⅱでは研究室訪問を、二学期の生産環境管理学特別講義Ⅰでは2、3年生を対象として企業説明会などを開催しています。そういった機会を能動的に活用して欲しいと思います。</p>
2	授業(課題)について	4、3	<p><b>授業開催方式・課題提出方法・提出締め切りの方針は、混乱を避けるために少なくとも授業内では統一してもらいたい。（できれば領域の教員内でも）</b></p> <p>以下、具体的な内容やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の先生が担当する授業で先生が変わるたびに課題の提出日が変わるのはやめてほしい。</li> <li>・曜日がかわったり、期間がかわったりでわかりづらくなることもある。</li> <li>・2回生はあまりないが、3回生のオムニバス教科に多い。</li> <li>・moodleの課題提出の欄が去年のままで、曜日と日にちが一致せず、戸惑うことがある。</li> <li>・資料公開が何年後かになっていることもある。</li> <li>・対面かオンラインかなどの授業連絡が遅い。周知のルールを教員内できめておいてほしい。</li> </ul>	<p>複数の教員が担当するオムニバス教科では、各担当教員ごとに課題の内容の質・量ともに異なるので、課題ごとに必要な時間が違います。また、みなさんの時期ごとの時間外学習の負担を考慮して期間を調整することもあります。このため、各課題の締切が違うケースがあることはご理解ください。授業中での伝達、資料への記載、moodle上の記載、KULASでの通知により、期限や授業方法について早期に正しい情報を周知することを徹底したいと思います。学生のみなさんには、それら情報を確認する習慣づけをお願いしたいと思います。</p>

# 学生会議からの要望と教員からの回答

2022/3/22

3	授業(課題)について	3	<p><b>課題、レポートに対してのフィードバックや指導を増やしてほしい。また、授業での指導内容と整合した参考書の指定をして欲しい。</b></p> <p>以下、具体的な内容やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験科目や地域環境学などでフィードバックがほしい。</li> <li>・解き方がまちがっているやここを調べたほうがいい、などのコメントが欲しい。</li> <li>・アドバイスをもらわないと深い勉強につながらない。</li> <li>・レポートでどこまで言及すればいいかわからないことがある。</li> <li>・授業での解き方と教科書の解き方が違うことがある。教科書があまり参考にならないことがあるので、できれば解き方は教科書と合わせてほしい。</li> </ul>	<p>フィードバックの仕方は演習や実験、課題の内容などで変わってくるものです。実験については、指導書や実験ノートに従って所定の体裁で記載されていないものは修正を促すといったことを行っています。演習については、解き方のポイント、間違いやすい点などを、授業中の解説、解答例での提示などを検討したいと思います。</p> <p>授業と教科書で解き方が違うという指摘については、授業の構成や時間配分に応じて、教科書に記載されている内容を一部割愛したり順序を入れ替えたりしています（これはガイダンスにて説明しています）ので、教科書記載の解法が使えないケースがあることを理解してください。多くの関連書籍を参考にして当授業に適していると思われる解法・考え方を講述しています（教科書の記載がベストではない）。現行の教科書に記載されている解法で不明な点が見つければ、遠慮なく質問してください。</p>
4	授業(課題)について	3	<p><b>三コマ連続の実験科目（環境材料学、水理学実験など）の内容や構成を見直してもらいたい。</b></p> <p>以下、具体的な内容やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コマ数に対する単位数がほかの授業と比べて少なく感じられる。</li> <li>・講義と実験をわけてほしい。そうすれば、評価もわけられるし、単位数も増やせるのではないかと思う。</li> <li>・実際に実験する回数が少ない。（コロナ対応で実験が減っているのかもしれないが）</li> <li>・実験を内容を充実したものにしてほしい。</li> <li>・実験結果を正しく確認できるような段取りがほしい。</li> </ul>	<p>学習時には授業時間中と授業外の学習時間から成ります。実験の場合、授業時間外に皆さんが自主的に行うことはできないケースがほとんどです。そのため、実験科目は授業内の学習時間が長くなることとなります。また、講義に続けて実験を組み合わせることで学習効率・効果を高めているため、両者を分離することはできません。現在、コロナ禍で登校できず実験のスケジュールが変更されたりしていますが、これは大学の安全対策に則った対応です。改善を要することは教員も認識を共有しています。実験の方法や結果については、教員やT A ・ S A からよりよく伝えられるよう改善していきます。</p>
5	進路選択について	2	<p><b>将来のイベント(分属や就活など)に関する理解を深めるため、スケジュールや概要を知る機会を増やしてほしい。</b></p> <p>以下、具体的な内容やコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒論など、まったく何をやっていいかわからない。就職や卒論でなにをいつやるか、タイミングなど感覚がわからない。</li> <li>・2年生が参加できるイベントが卒論の中間発表だけなので、何をしているかが掴みづらい。</li> <li>・授業の合間にも研究室でどうということやっているか教えてもらえると助かる。</li> <li>・領域選択にあたって、考える時間がなかった。どのような領域なのか、雰囲気を知れる機会が欲しい。</li> </ul>	<p>領域選択に関してですが、昨年、生産環境管理学領域のHPをリニューアルしましたので、領域選択の参考になるように活動状況などを随時公開していきたいと思えます。研究室分属に関してですが、生産環境管理学特別講義Ⅱでは研究室訪問がメニューとして組み込まれていますので、これに参加することで分属前に研究室の内容を知ることができます。2022年度からは、1学期はじめのガイダンスやHPで周知をはじめます。また、研究室の活動紹介動画を作成し、HPで公開するといった試みを今後検討したいと思います。就職活動に関しては、3年生を主対象とした集中講義「地域協働インターンシップ」（通常は夏休み期間に実施）のガイダンスの際に、就職活動のスケジュールや取り組み方に関する説明をすることを検討したいと思います。このほか、春季研修会や秋季研修会での情報提供を増やしていきます。</p>